

## 事務所長からのメッセージ

皆さん、いつもこのサイトをご覧いただき、ありがとうございます。私どもでは、道北地域の金融や経済に関する最新の情報発信に努めております。いかなることでも結構ですので、ご意見やご要望をお寄せください。このページ右下のアドレスにアクセスしてください。

- 2月9日に公表しました「[金融経済概況（道北地区）](#)」では、当地景気の基調判断を前月と同様の「厳しい状況にある」に据え置きました。昨年12月公表分以来3カ月連続です。最近の世界経済や国内経済全体の動きはとても急激ですが、当地域に限って言えば、全国よりも先行して悪化傾向がみられた結果、先月までの各需要項目の判断を大きく変更すべきものはないと考えています。落込みの度合いは、全国対比でみれば相対的にマイルドと行うことができると思います。道北地域の景気は、今のところ「厳しいながらも、どっこい粘り強く持ちこたえている」と判断しています。
- ただ、今後については十分な注意が必要だと考えています。旭川地区や網走地区の有効求人倍率が0.4倍台を切るなど雇用情勢の変化には十分な注意が必要です。また、大手百貨店の動向も大変気になるところです。消費とか投資にはマインドがとても大きく作用します。今しばらく辛抱の期間が続くかもしれませんが、実態以上にマインドが悪化しませんように、気をつけてまいりましょう。
- こうした中、いくつか前向きなお知らせです。
  1. 映画「旭山動物園物語 ～ペンギンが空を飛ぶ～」が全国で封切りされました。この映画は、動物園閉園寸前の崖っぷちからいかに全国一の動物園に変身を遂げていったかを巡る、関係者の人間ドキュメントであると共に、動物の生態をみる上でも、とても興味深い内容になっています。市民のエクストラ出演を含め、街全体が一丸となって応援したものです。
  2. 「北彩都（きたさいと）あさひかわ」プロジェクトに関するシンポジウムが3月13日（金）に旭川大学にて開かれ、小職もシンポジストとして参加する予定です。このプロジェクトは、JR旭川駅および周辺地域の再開発プロジェクトで、旭川の今後50年、100年を決するビッグプロジェクトです。「人が輝く 北の文化のかおる まち」あさひかわ、を実現するために、是非とも衆知を結集して、いいものが出来ることを願っています。また、結果としてこれが地域経済活性化の起爆剤になると確信しています。
  3. 2月1日付け北海道新聞道北版に小職のインタビュー記事が掲載されました。地元に対する応援歌のつもりで発言しましたが、よろしかったら、[こちら](#)からご一読ください。
  4. 雪と氷の祭典「第50回旭川冬まつり」が始まりました。同時に氷彫刻世界大会も

平成21年2月分

開催されています。北の冬ならではの醍醐味です。その模様は、[こちら](#)をご覧ください。

平成21年2月9日

尾家 啓之